

一般

**平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)**

評価対象事務事業名		憲法記念事務			事業コード	0010
担当課等	所属名	総務部 総務課		担当係名		
	課長名	総務部 総務課	担当者名	佐藤 雄一		電話番号

**1. 事務事業の基本情報**

総合計画体系	施策の柱	共に生き未来を創る教育・文化	コード 4	施策	いつでもどこでも学ぶことができる環境の構築	コード 2
	基本事業	社会教育の充実	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 2款 1項 1目 憲法記念講演会事務(005-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度				⇒(開始年度 昭和53年度~)	
事務事業の概要	昭和21年11月3日に新憲法が公布され、6月後の翌22年5月3日から施行されたが、憲法に対する市民の関心を高めるため、昭和53年から憲法にちなんだテーマでの講演会を開催している。					
根拠法令等	なし					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
市民の憲法への関心を高めるため、憲法週間の記念行事として昭和53年度から実施している。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
市議会議員から積極的にPRするようとの意見があった。アンケートなどでも継続の意見がある。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
大きな災害などにより、生存権や幸福追求権といった憲法で保障される権利に対する意識が高まっている。						

**2. 事務事業の実施状況(Do)**

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市民	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 市民	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 大学教授を講師に招き、憲法記念講演会を開催した。市民へ講演会周知のために市広報に掲載するとともに、ポスター、パンフレットの作成及び町内会長、老人クラブ等へ案内状を送付した。  23年度計画(23年度に計画している主な活動)  大学教授を講師に招き、憲法記念講演会を開催する。市民へ講演会周知のために市広報に掲載するとともに、ポスター、パンフレットの作成及び町内会長、老人クラブ等へ案内を送付する。また、大学等でチラシ等を配布し一層の周知に努める。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 案内状送付	単位	部
				B. ポスター・チラシ作成	単位	部
				C. 市広報紙等掲載	単位	回
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	市民の憲法への関心を高めること。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 講演会参加者数 【指標の性格: <input checked="" type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	人
				B. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
				C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのよう貢献するか)	多様で良質な学習機会が提供され、市民が参加できる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	市の講座数(単位:講座) 講座受講者数(単位:人)		




3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 市主催の憲法をテーマとした唯一の講演会である。毎年、市民の関心が高いと思われる憲法にちなんだテーマを選定し、大学教授等学識者に講演を依頼しており、多様な学習機会の提供の一翼を担っている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 市民生活の核となる憲法について関心を持ってもらう取組は重要な施策である。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 市民生活の核となる憲法について関心を持ってもらう取組は重要な施策である。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 市民への学習機会の一環であるが、特に日本国憲法に親しみ、関心を持ってもらうことを目的とした事業であり、現状で妥当である。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 市民が興味・関心を持ついわゆる「要求課題」的テーマと、行政として取り上げたい「必要課題」的テーマのバランスを取りつつ、最大限の効果を得られるよう、日々情報収集を行う必要がある。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 憲法記念講演会の継続を望む意見がある中、廃止した場合、市民の学習の機会が少なくなり、また憲法をテーマとした学習の機会がなくなる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 事業費は、講師謝金と看板など消耗品費のみであり必要最小限である。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 事務担当者の人件費、当日の会場準備、受付など必要最小限の人件費である。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 広報紙、ポスター、チラシなどで市民に周知しており、希望者は誰でも聴講できる。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 参加は無料であるが、憲法に関する今日的なテーマについて市民に学習してもらうことは市政推進のためにも意義があるものであり、適正と考える。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)                  ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること                  現状維持とするが、多くの市民が関心を持つような講演テーマを選定する。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？                  (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)                  講師の選定が難しいため、時期を早めに取り組む。</p>
---------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ② 有効性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ③ 効率性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ④ 公平性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>憲法自体について講演するというより、できるだけ市民の親しみやすい講演テーマと講師の人選を心がけている。参加者アンケートでもわかりやすかったというような回答を得ている。</p>							
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携                 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携							
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止								
									
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>日常において、憲法を具体的に意識する機会を維持することは大切なことである。</p>									